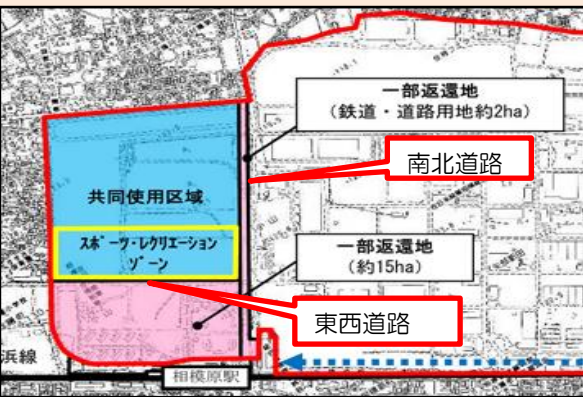


小山地区まちづくり懇談会

10月30日（金）、小山公民館にて小山地区まちづくり懇談会が開催されました。今年以下2つのテーマについて、まちづくり会議のメンバーが小星副市長をはじめ市の関係部局の代表と懇談をしました。

テーマ1「相模原駅周辺のまちづくりについて」

- ・昨年9月末に返還された約17ヘクタールの整備については、平成26年8月から広域交流拠点整備計画の検討を行っており、「安心とゆとりのある文化・行政が集積する中枢業務拠点」のコンセプトに基づき、立地の優位性を生かしたまちづくりを進めたいとの説明がありました。
- ・現在検討している整備計画について、小山地区に対して詳しく説明する場を設けるよう要望しました。



【相模総合補給廠の一部返還地】

テーマ2「交通ネットワークの円滑化について」

- ・「広域交流拠点整備計画検討委員会」の中間とりまとめの中で、駅北口地区の主要なアクセス道路となる宮下横山台線、（仮称）東西道路、（仮称）南北道路は、優先的な整備の必要性を掲げており、現在は南多摩尾根幹線との接続や交差点の形状などについて、関係機関と協議を進めていると説明がありました。
- ・宮上横山線については、用地取得率が約75%となったと説明がありました。
- ・南北道路については、歩行者、自転車の通行に配慮した早期利用の実現に向けて引き続き取り組んでまいりたいと説明がありました。



《平成27年度小山地区敬老会を開催》

小山地区敬老会が10月10日（土）向陽小学校体育館にて、400名余の方々に参加していただき盛大に開催されました。式典では平素、地区の高齢者のために精力的に尽力されている小山男性ボランティアグループと傾聴ボランティア「クローバー」の2団体、及び5サロン（氷川町、東第一、宮下、久保原、相模原駅前）に対し、小山地区敬老事業顕彰が授与されました。式典終了後、向陽小学校児童の合唱や向陽鼓笛隊の演奏に続いて、各自治会代表の歌や盆踊りやフラダンス、ハーモニカなどが披露され、盛んな喝采をあげていました。また、今年も特別ゲストとして小山在住のプロ歌手、久永さとみさんをお招きし歌謡ショーを開催しました。

皆さまご存知の「四季の歌」や「青い山脈」、「花」は会場の皆さまも一緒に大きな声で元気に合唱し、とても和やかで一体感溢れる素晴らしい歌謡ショーでした。これからも小山地区高齢者の方々の交流・歓談の場を大切に、皆さまのご健康とご多幸を祈念し、和やかに閉会となりました。少し肌寒い曇り空の中でしたが、皆さん明るい笑顔で帰路に送られました。



地区子連だより

- 7月から9月、子供達は楽しく、有意義な体験をしました。
- 農業体験をしました。（宮下1丁目 原さんの畑にて）
4月に植えたジャガイモを育て、7月に収穫しました。子供達はいろいろな大きさや形があって、びっくりしたようです。
- 8月12日・13日ジュニアリーダー養成研修が藤野の”やませみ”で行われ、小学生11名、中学生9名が参加しました。水遊びをし野外炊事では、丸太切りに汗を流し、カレーライスを作っておいしく食べました。夜はキャンドルファイヤーで楽しいひと時を過ごしました。
- 9月12日、小山地区ふるさとまつり盆踊り大会、27日、運動会に参加しがんばりました。

連絡先 090-9388-8657 （地区子連会長 坂内ツナ子）



小山地区連合自主防災隊総合防災訓練

訓練日 平成27年10月25日（日）
会場 向陽小学校校庭
参加者 279名

今年小山地区総合防災訓練として、粉末消火器で実際の火を消す初期消火訓練を行いました。当日は木枯らしが強く吹いたため、訓練の後半は水消火器での訓練になりましたが、火炎の強さを実感しながらの消火訓練は緊迫感が漂うものでした。また、消防署員のはしご車による救出実演や、消防団員による放水操法実演は、的確で技術の高さを見せてくれました。これからも地域の皆様と、災害発生時に真に役に立つ訓練を追及していきます。



小山地区自治連視察研修会

小山地区には立派な企業が沢山あります。

小山自治連では年2回県内外の公共事業所に視察研修を重ねてきましたが、小山地区には沢山工場があるので今年度は地元事業所を見学することとしました。小山地区工場協議会幹事の協栄産業(株)安藤総務部長のご紹介で下記の2社を見学しました。

11月5日 11時～12時 株式会社サンコーシヤ
相模テクノセンター
13時半～15時半 協栄産業株式会社



【株式会社サンコーシヤにて】

【株式会社サンコーシヤ】
雷といえばサンコーシヤ。雷と向き合い85年以上、世界で唯一の「総合雷防護企業」として高度な技術力で私達の安全を守っています。NHK・TV天気予報の雷発生予報はサンコーシヤのグループ会社フランクリン・ジャパンから提供されているそうです。

【協栄産業株式会社】
プリント基板製造の協栄産業。創業が1947年(S22年)で、プリント基板事業を1968年に相模原工場で開始し、時代のニーズに合わせた最先端の技術が一枚のプリント基板に詰め込まれ、エレクトロニクス業界の発展の一翼を担っています。また現在は最先端技術のひとつである3Dプリンター事業も手掛けています。工場内もきれいで働く従業員の皆さんが私達を歓迎してくれました。



【協栄産業株式会社にて】

はやぶさの故郷 潤水都市 さがみはらフェスタ 2015

10月31日(土)・11月1日(日)、相模総合補給廠返還地で開催されました。

- ☆ 宇宙・スポーツ・相模原を感じる体験コーナー
 - ☆ 相模原の味覚、物産などがたくさんある模擬店コーナー
 - ☆ ステージコーナー
- などが催され、人出も例年より多く遊んで食べて楽しみました。また、毎年おこなわれている“さがみはらあ麺グランプリ”もあり、長蛇の列ができていました。今年も小田急多摩線延伸促進協議会 成川会長のご挨拶のあと、手作りの小田急線延伸音頭を小山地区の代表と田名地区からの参加者が一緒に相模原民謡協会の演奏と歌をバックに小田急線延伸の早期実現を願って、元気一杯に踊りました。

